

都市交通・道路分野で提携

オリコンサル トーニチコン 五輪見据え提案力強化

オリエンタルコンサル
タンツは27日、都市交通
や道路などを得意分野と
するトーニチコン（東京
都渋谷区、川東光三社長）
と業務提携したと発表し
た。交通・道路分野のイ

ンフラ整備需要に対し、
両社が保有する技術やノ
ウハウを結集。国内外で
連携して受注拡大を目指
す。

投資、国内では維持管理
・更新の需要が拡大して
いる。オリコンサルは、
都市鉄道の調査や設計で
国内トップクラスの実績
と技術力を持つトーニチ
コンと連携することで、
激化する受注競争を勝ち
抜ける体制を整える。ト
ーニチコンが担当した主
な業務は国内が「北陸新
幹線神通川橋梁設計」な
ど、海外がフィリピンの
「マニラ首都圏内都市鉄
道戦略調査」など。

と技術力を融合して、イ
ンフラ整備に貢献したい
考え。

直近の業績は、オリコ
ンサル(12年9月期)が売
上高220億78百万円、
営業利益2億22百万円、
経常利益2億23百万円。
トーニチコン(同)が受
注高39億23百万円、売上
高38億63百万円、純利益
8百万円。トーニチコン
の業績で鉄道分野が占め
る割合は受注高で31・3
%、売上高で39・1%だ
った。

交通・道路分野のイン
フラ整備は、海外で新規

を中心とする各国、国内
は2020年夏季五輪が
開催される東京を、都市
鉄道と道路の両分野で特
に注力する地域に位置付
ける。

東京五輪は、選手村か
ら半径8^{km}の圏内に多く
の競技施設を配置するコ
ンパクトさが大会計画の
特徴で、都心部に国内外
から訪れる観客が集中す
るため、交通網をどう整
備するかが大きな課題に
なる。両社はこの分野で
業務ニーズが増加すると
みており、両社の提案力

両社は、JVを結成し
て海外の鉄道関連プロジ
ェクトに対応したり、国
内の提案活動で技術やノ
ウハウを相互活用した
り、国内外で連携を深め
事業拡大につなげてい
く。

ア諸国連合(ASEAN)